

志賀直哉の心のふるさと・双葉



志賀直哉ゆかりの地にちなんで図書館の一角にコーナーを設け、手紙・書・写真など多数展示しています。

明治16年、宮城県石巻町生まれ。武者小路実篤氏らと「白樺」を発刊、日本文学史に大きな足跡を残した。代表作；「暗夜行路」「網走まで」「城の崎にて」ほか

●前田の大杉(県指定緑の文化財)

前田字稲荷前地内の稲荷神社境内にある浜通り随一の巨杉です。推定樹齢1000年、樹高23.5m。

●新山城跡(町指定文化財)

元弘元年(1331)に標葉四郎隆連が築城以来、隆重、隆豊と三代が居館しました。縄張りは中央公園から双葉中学校までの広範囲にわたり、曲輪、土塁、空堀、畝状縦堀が現在も残っています。

●鴻草磨崖仏(町指定文化財)

鴻草字清水迫地内の丘陵岩壁面に彫られています。中央に大日如来座像が、右に弥勒菩薩立像、左には聖観世音菩薩立像が彫られています。

●両竹磨崖仏(町指定文化財)

両竹字稲荷迫地内の丘陵頂上の岩壁面に彫られています。岩屋は2つあり内1つには薬師如来座像が彫られています。もう1つの中央には阿弥陀如来座像が、右に勢至菩薩立像、左には観世音菩薩立像がそれぞれ彫られています。

●十一面観世音菩薩座像(町指定文化財)

目迫字長迫地内にある観音堂に安置されています。大同2年(807)の堂宇建立とともに安置されたと伝えられています。

●阿弥陀如来座像(町指定文化財)

長塚字寺内前地内にある阿弥陀堂に安置されています。堂宇の建立は大同2年(807)と伝えられています。

●十三仏画

ハスの茎の繊維で織った布に十三仏を刺繍した曼陀羅です。脇に元和4年(1618)の刺繍があります。旧満福寺檀家が共有しています。

①前田の大杉 ②新山城跡 ③両竹磨崖仏

④十一面観世音菩薩座像 ⑤阿弥陀如来座像

